



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 麻酔科 凌 将登
(代理) 麻酔科 林 督人

【研究責任者】

聖路加国際病院 麻酔科 凌 将登

当院で乳房切除術を受けられた方を対象とした全身麻酔薬による副作用に関する研究

1.研究の対象

2021年3月～2023年3月に当院で乳房切除術(他の手術との合同手術を受けられた方は除く)を受けられた18歳以上の女性

2.研究の目的・方法

全身麻酔を受けた際の術後合併症として嘔気・嘔吐がしばしばみられます。そのため、麻酔方法の工夫や薬剤の投与による嘔気・嘔吐予防対策に日々努めておりますが、今回全身麻酔薬であるレミマゾラムとプロポフォールについて調査することで術後嘔気・嘔吐との関連を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人 研究機関の長の実施許可後～2023年9月30日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

年齢、身長、体重、以前よりかかっている病気、生活習慣や、飲まれているお薬、受けられた手術の種類、受けられた麻酔の方法及び麻酔中に使用したお薬の種類と量、手術のあとの経過(痛みや吐き気の程度、手術のあとに使用したお薬(痛み止めや吐き気止めの種類や量)、血液検査、心電図、レントゲン、超音波検査の結果、カルテ番号